

17. 仙台地区正常児と心身障害児の体温

気温（室温）の影響について

千葉 良, 望月 恵子, 扇田 拓代
 伊藤 義郎, 加藤 俊和, 鈴木 倫男
 前川 康治, 矢尾板 宏, 萱場 英吾
 唐橋 実, 池田 知行, 福井 安彦
 梅林 宏正, 師 研也, 多田 啓也
 宮城県立拓桃園 はぐくみ学園, 宮城県立亀亭園

昭和54年度、当研究班の調査と同時に、仙台地区での気温（室温）の体温への影響について検討したので報告する。体温測定的时间及び測定方法は研究班の方法に従った。

1. 正常児について

測定は、暑い日を選んで3日間測定し、同じような傾向をとることを、約260名で確かめた後、室温（気温）の記入の確かなもの328名について検討した。乳児（1カ月～1才2カ月）、幼児、小学生及び中学生に区分し、最高気温（室温）が30℃未満のものと最高気温（室温）が30℃以上のものに分け、更に、最低気温（室温）を20℃から30℃に至るまで分けて、図示すると、図1の如くなる。

表 1	体温37.0℃以上のもの			全 例	体温37.0℃以上のものうち最低室温が24.0℃以上
	最高室温が30℃以上	最高室温が30℃未満			
乳 児	32/57例 56.1%	12/60例 20.0%	44/117例 37.6%	42/44例 95.5%	
幼 児	13/22 59.1	6/53 11.3	19/75 25.3	14/19 73.7	
小学生	16/57 28.1	3/52 5.8	19/109 17.4	19/19 100.0	
中学生	3/15 20.0	2/12 16.7	5/27 18.5	5/5 100.0	

図1及び表1より、最高室温が30℃以上になる大変暑い日には、乳児及び幼児では、半数（56.1%、59.1%）が、37℃以上に体温が上昇する。小学生、中学生は28.1%、20.0%と37℃以上に体温が上昇するものは少くなる。全例でみても、体温が37.0℃以上

图1 正常児

○ 最高気温が30℃未満
 ● 最高気温が30℃以上

38℃

37.0℃

37.7℃
 37.6
 37.5
 37.4
 37.3
 37.2
 37.1
 37.0
 36.9
 36.8
 36.7
 36.6
 36.5

体温

最低気温℃

1 月 ~ 1 才 2 月

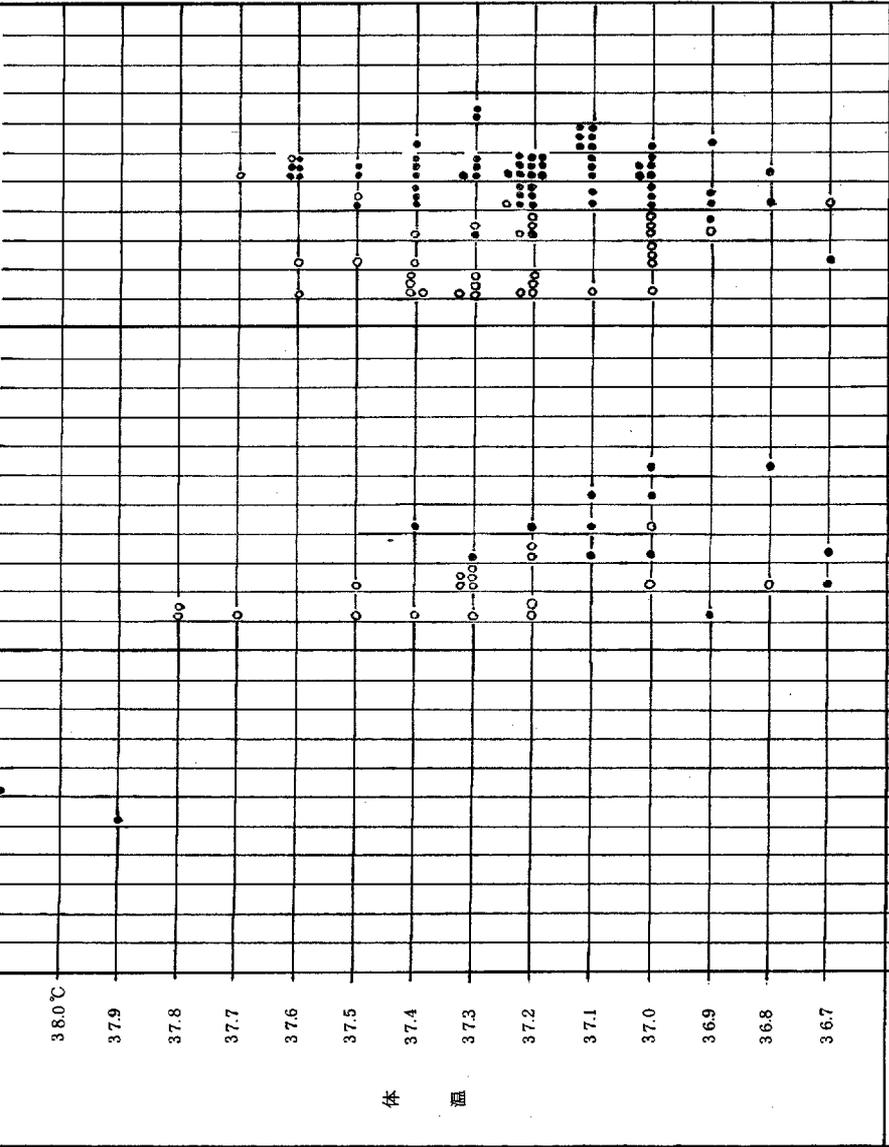
幼 児

小 学 生

中 学 生

20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

図2 心身障害児(C.P.)
 ○ 最高気温が2.6℃未満
 ● 最高気温が2.6℃以上2.9℃以下



	乳 児										幼 児										学 童												
最低気温℃	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

になるものは、年齢が小さい程多い。最低気温が24.0℃以上と発汗しやすい室温となると、全年令で、体温が37℃以上になるものが圧倒的に多い（乳児95.5%，幼児73.7%，小学生100%，中学生100%）。

2 心身障害児（C.P.）

測定は一週間続けて、1回でも37.0℃以上のものはとりあげて、135例について検討した。殆んど患児はCPであり、乳児、幼児及び学童に区分し、最高気温（室温）が26℃未満と最高気温（室温）が26℃以上29℃以下に分け、更に最低気温（室温）を20℃から30℃に至るまで分けて、図示すると図2の如くなる。

体温37.0℃以上のもので

最高室温26℃以上29℃以下のもの	71/82例	86.6%
最高室温26℃未満のもの	50/53例	94.3%
全例	121/135例	89.6%
最低室温24℃未満のもの	51/59例	86.4%
最低室温24℃以上のもの	85/95例	89.5%

以上の結果より、CP児では、最高気温（室温）が26℃未満でも、非常に高率に体温が37.0℃以上になることが多い（89.6%）、しかも、正常児と違って、最低気温（室温）が24℃以上であれ、24℃未満であれ（それぞれ89.5%、86.4%である）、体温が37℃以上になることが非常に高率である。このCPの体温上昇と発達のおくれ（例えば首座りのおくれ）やひきおこし反応などの反射をくみあわせれば、日常診療でのCPの早期発見にかなり有効なものとなろう。

18. 小児における体温の日内リズム

その3、障害児の体温

南部 春生（北海道社保中央小児科）

阿部 和男（国立札幌病院小児科）

表1に示すごとく、進行性筋ジストロフィ、脳性小児麻痺、その他の精神神経疾患について重



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昭和 54 年度,当研究班の調査と同時に,仙台地区での気温(室温)の体温への影響について検討したので報告する。体温測定的时间及び測定方法は研究班の方法に従った。